

平成30年5月期・第3四半期連結決算の概要

I. 平成30年5月期・第3四半期連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、平成29年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」（いわゆる骨太方針2017）にて「2020年（平成32年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、ジェネリック医薬品は今後一層、数量シェアの拡大が見込まれております。しかしながら、社会保障費における薬価制度の在り方が政府内で活発に議論され、政府より平成28年12月にこれまで2年に1度であった薬価改定を毎年改定する方針が示されるなど医薬品業界として先行き不透明な状況であり、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、消化性潰瘍剤原薬及び血圧降下剤原薬等の一部のジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移しておりますが、全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響と大型品目を中心としたAG（オーソライズドジェネリック）の登場により厳しい状況で推移いたしました。

製剤につきましては、医療用医薬品において自社開発ジェネリック医薬品の販売増加、新薬や新規長期収載品目の製造受託及び一般用医薬品の販売増加があり好調に推移いたしました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移いたしました。

II. 連結損益の状況（累計）

① 損益実績

(百万円)

	平成29年5月期・第3Q		平成30年5月期・第3Q		対前期比較		平成30年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	27,919	100.0%	29,636	100.0%	+1,717	+6.2%	39,500	100.0%	75.0%
売上原価	22,011	78.8%	23,460	79.2%	+1,449	+6.6%			
売上総利益	5,907	21.2%	6,176	20.8%	+269	+4.6%			
販管費	2,831	10.1%	2,991	10.1%	+160	+5.7%			
営業利益	3,075	11.0%	3,185	10.7%	+110	+3.6%	4,100	10.4%	77.7%
営業外収益	93	0.3%	95	0.3%	+2	+2.2%			
営業外費用	127	0.5%	34	0.1%	△93	△73.2%			
経常利益	3,041	10.9%	3,245	10.9%	+204	+6.7%	4,150	10.5%	78.2%
特別利益	80	0.3%	20	0.1%	△60	△75.0%			
特別損失	15	0.1%	0	0.0%	△15	△100%			
税引前利益	3,107	11.1%	3,265	11.0%	+158	+5.1%			
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,043	7.3%	2,300	7.8%	+257	+12.6%	2,850	7.2%	80.7%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	平成29年5月期・第3Q		平成30年5月期・第3Q		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	16,654	59.7%	15,684	52.9%	△970	△5.8%
製剤	11,010	39.4%	13,715	46.3%	+2,705	+24.6%
健康食品他	254	0.9%	237	0.8%	△17	△6.7%
合計	27,919	100.0%	29,636	100.0%	+1,717	+6.2%

III. 設備投資の状況（累計）

(百万円)

	平成29年5月期・第3Q	平成30年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額（発生ベース）	1,886	2,181	+295
無形固定資産の投資額（"）	6	8	+2
合計	1,893	2,189	+296

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 高薬理 R & D センターの建設	233	ダイト 高薬理医薬品の研究開発
・ 包装製造設備等	320	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 第八製剤棟の建設	960	ダイト 高薬理医薬品の製造

決算発表・補足説明資料 (2/2)

平成30年4月13日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

IV. 減価償却費の状況 (累計) (百万円)

	平成29年5月期・第3Q	平成30年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	1,991	2,075	+84
無形固定資産等	79	35	△44
合計	2,071	2,110	+39

V. 研究開発費の状況 (累計) (百万円)

	平成29年5月期・第3Q	平成30年5月期・第3Q	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	907	1,212	+305

平成30年5月期・通期連結決算の予想

平成30年5月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年7月11日に公表いたしました予想数値から、売上高及び品目別売上高を修正いたしました。

平成30年5月期通期での売上高は、製剤においては好調に推移することが見込まれるものの、原薬において全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響と大型品目を中心としたA G（オーソライズドジェネリック）の登場により厳しい状況で推移することが見込まれ、全体として減少する見通しです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、自社開発ジェネリック医薬品の販売増加及びコストダウン効果、並びに研究開発費の減少等により、前回業績予想から変更はありません。

I. 連結損益の予想 (通期) (百万円)

	平成29年5月期 通期		平成30年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	37,984	100.0%	39,500	100.0%	+1,516	+4.0%
営業利益	3,832	10.1%	4,100	10.4%	+268	+7.0%
経常利益	3,878	10.2%	4,150	10.5%	+272	+7.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,656	7.0%	2,850	7.2%	+194	+7.3%

II. 品目別売上高 (通期) (百万円)

	平成29年5月期 通期		平成30年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	22,263	58.6%	20,600	52.2%	△1,663	△7.5%
製剤	15,372	40.5%	18,600	47.1%	+3,228	+21.0%
健康食品他	348	0.9%	300	0.8%	△48	△13.8%
合計	37,984	100.0%	39,500	100.0%	+1,516	+4.0%

III. 設備投資の状況 (百万円)

	平成29年5月期	平成30年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	3,505	3,950	+445
無形固定資産の投資額 (")	24	90	+66
合計	3,530	4,040	+510

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 製剤関係 ダイト 高薬理製剤棟の新設	2,100	第八製剤棟の建設 (総投資額 3,500百万円)
・ その他 ダイト 高薬理R&Dセンターの建設	200	高薬理医薬品の研究開発 (総投資額 1,700百万円)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	平成29年5月期	平成30年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,726	2,870	+144
無形固定資産等	91	60	△31
合計	2,818	2,930	+112

以上